

令和4年度市川三郷町第2次総合戦略

総合戦略検証委員会中間検証結果
(令和4年11月17開催)

令和4年度市川三郷町第2次総合戦略中間検証

区 分	事業名 (担当課)	評価 項目	評価基準		全 検 体 証 評 委 員 員	検証委員意見・評価等
新規	青洲高校との協働による事業の推進 (商工観光課 商工係) 【概要】 ・新設高校である青洲高校へ、地域の特性に根 ざした歴史文化や地場産業など地域に対する理 解を深め、将来、地域のために課題解決に取り 組む。市川三郷町の地場産業である、和紙・印 章・花火を峡南地域学として職人が座学と実践 の授業を行う。 今年度、6回/年のカリキュラム予定が現在1回 のみ実施済み。 【数値目標】 ・カリキュラムを6回実施／年 【中間実績・担当評価(10/1現在)】 ・1回: 努力が必要(80%未満) 【年度末までの活動内容や課題等】 ・11/17ヒアリング時では6回実施済み。	事業 の 進 捗 状 況	A	KPIの達成に向けて事業が推進され、十分 な効果があった。(良好)	C	○協働して取り組むという体制が良いと思います。引き続き取り組んでほしい事業です。 ○テーマを決めて、そのテーマに沿って3年間の集大成にプレゼンは良いことである。峡南地域 の発展のために高校生(発想力)とタイアップして継続していくことは良いと思う。 ○この事業を通して、町として活性化のため高校生に対してどのような要望があるのか提言して いただき、両方向のアプローチをすともっと発展していくと思います。 ○地場産業である手すき和紙の体験をすることで、少しでも地場産業に興味を持つ学生が一人 でも多くいたら、この時ばかりではなく将来に繋がる事を期待します。 ○高校生の斬新なアイデアを製品・商品開発に活かしてほしい。 ○高校生(若い人)のSNSでの発信力を活用し、和紙、花火等、市川三郷町の地場産業を外に 向けてアピールしてもらいたい。 ○高校生等にSNS等で配信したらよいのではないか。(花火等)
			B	KPIの達成に向けて事業が推進され、相当 程度の成果があった。(概ね良好)		
			C	KPIの達成に向けて事業が推進されたが、 成果が不十分であった。(必ずしも良好とは 言えない)		
			D	KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期 待する。		
			E	KPIの達成に向けての事業推進が不十分で ある。		
		今後 の 方 向 性			A	
			A	事業拡充(さらに発展させるべき)		
			B	事業改善(内容を見直し取り組むべき)		
			C	事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)		
			D	事業廃止(地方創生に効果がなかったこと から、事業をやめるべき)		

令和4年度市川三郷町第2次総合戦略中間検証

区分	事業名 (担当課)	評価項目	評価基準		全検証 評価委員	検証委員意見・評価等
継続	ふるさとまつり推進事業 (商工観光課 観光係) 【概要】 ・大切に受け継がれ発展してきた伝統産業と地域に根付き育まれてきた文化は、ふるさと四季祭りによって継承されています。夏の「神明の花火大会」は「歴史・文化・伝統・産業」を織り込んだ活力ある町づくりとして、「花火の町市川三郷」の夏まつりにふさわしい花火大会を実施しています。今後、ICTやIOT等を活用し、民間との協働、民間の活力を活用しながらふるさと祭りを推進し、交流・関係人口の増加、インバウンドへの積極的な取り組みを推進します。 【数値目標】 ・有料観覧席：11,080席設定 【中間実績・担当評価(10/1現在)】 ・有料観覧席：11,030席販売：概ね順調(80%以上100%未満) 【年度末までの活動内容や課題等】 ・次年度に向け、有料観覧席の設定見直しを行う。	事業の進捗状況	A	KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)	B	○さらに増設してほしいです。ペアシートなんかもあるといいと思います。 ○国交省の事業の一環として有料観覧席を設けているとしたならば、もう少し安くできないか。券の販売方法をネットと窓口販売を公平にしていきたい。 ○素晴らしい花火大会ですので、チケット販売や会場への車等のアクセスのハードルを下げて、もっと多くの方にこの素晴らしさを知ってもらいたいと思います。 ○観覧席の増設が計画通り出来て良かったと思います。シート席の増設も計画をお願いします。 ○県外からの集客を図るため、情宣やチケットの販売方法について工夫してほしい。
			B	KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)		
			C	KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)		
			D	KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。		
			E	KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。		
					A	○シート席の増設とともに観客数増加の半面、安全面も考慮して動線の確保をしっかりといただき。 ○有料観覧席を増やすのは良いが、駐車場の問題があるのではないかな。
		今後の方向性	A	事業拡充(さらに発展させるべき)		
			B	事業改善(内容を見直し取り組むべき)		
			C	事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)		
			D	事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)		

令和4年度市川三郷町第2次総合戦略中間検証

区 分	事業名 (担当課)	評価 項目	評価基準		全 検 体 証 評 委 員 員	検証委員意見・評価等
新規	町単講師等の配置事業 (教育総務課 学校教育係) 【概要】 ・児童生徒の教育環境の充実に継続して図るため、町単講師等を配置する。また、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難を改善するため、適切な指導や必要な支援を行う特別支援教育支援員を配置する。 【数値目標】 ・配置人数 40人 【中間実績・担当評価(10/1現在)】 ・配置人数42人:順調(目標値以上) 【年度末までの活動内容や課題等】 ・町単講師等について、必要人数を設置した。今後も学習環境や学力の向上に努め、また校舎内外の美化整備、生活環境等の教育環境の充実に図りたい。	事業の進捗状況	A	KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)	A	○予算との兼ね合いがあると思いますが、手厚い対応が多くできれば良いと思います。 ○生徒が快く勉強ができるように配慮していると思います。30人学級から25人学級に移行して頂ければと思います。 ○子供たちの成長のために、各校の教育ニーズにあわせた配置を継続して行ってほしい。未来の人材への投資が大切だと思います。 ○町単講師を配置することで、手厚い指導ができることで良い教育環境が得られ良いことだと思います。 ○人員の配置については、基準を設けて明確にしてほしい。 ○学校が多いので人員の配置が必要ではないか。
			B	KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)		
			C	KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)		
			D	KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。		
			E	KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。		
		今後の方向性			C	
			A	事業拡充(さらに発展させるべき)		
			B	事業改善(内容を見直し取り組むべき)		
			C	事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)		
			D	事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)		

令和4年度市川三郷町第2次総合戦略中間検証

区分	事業名 (担当課)	評価項目	評価基準		全検証 評価委員	検証委員意見・評価等		
継続	「空き家バンク」登録・利用促進事業 (まちづくり推進課 住宅係) 【概要】 ・「空き家バンク」への登録・利用を促進するための事業を実施し、町内空き家の減少及び管理意識を向上させるとともに、町内外からの定住・移住人口の増加を図る。 「空き家バンク」登録・利用促進事業補助金・・・契約成立した物件に対し、改修工事や家財処分を行う場合、補助金を交付(改修費の1/2、上限100万円・家財処分費上限10万円) 【数値目標】 ・成約件数 3件 【中間実績・担当評価(10/1現在)】 ・成約件数 2件：概ね順調(80%以上100%未満) 【年度末までの活動内容や課題等】 ・補助金の利用が浸透してきており、新規登録物件数5件・成約件数2件と概ね順調である。HP等で制度の周知を強化し、登録物件数・成約件数の更なる増加を図る。	事業の進捗状況	A	KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)	A	○個人的には定住だけではなく、店舗だけの利用も考えても良いのではと思います。農地とセットで訴求したら良いと思います。 ○空き家に対して登録を促すように努力していることが伺える。周知をどんな方法でもよいので空き家を減らして頂きたい。 ○この事業により、着実に人口が増加していることは評価できます。空き家とセットとなるニーズを掘り出すと、さらに人口増になる可能性もあろうかと思っています。 ○補助金を使って住居が購入出来て、とても良い事業だと思います。古民家を利用して町外の方の定住移住人口の増加が図れ、活性化に繋がればと思います。		
			B	KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)				
			C	KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)				
			D	KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。				
			E	KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。				
		今後の方向性					A	
			A	事業拡充(さらに発展させるべき)				○人口増加に資する施策であり、事業拡充を図ってほしい。 ○空き家の紹介、補助金申請だけでなく、定住するとともに畑(家庭菜園)を紹介したり、課と課で連携をしていただきたい。 ○一坪畑付きの物件等が良いのではないかと。
			B	事業改善(内容を見直し取り組むべき)				
			C	事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)				
			D	事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)				

令和4年度市川三郷町第2次総合戦略中間検証

区 分	事業名 (担当課)	評価 項目	評価基準		全 検 証 委 員 評 価	検証委員意見・評価等		
新規	ふるさと納税推進事業 (政策秘書課 ふるさと納税係) 【概要】 ・当町も制度に参加して10年を経て多くの寄附金が集まるようになった。集まった寄附金は、町の「子育て支援」、「福祉」、「教育環境」等をはじめとする殆どの事業に活用されているが、今後は、「GCF」や「企業版ふるさと納税制度」といった制度にも力を入れて取り組んでいき、町が実施するより多くの事業へ展開していく。 【数値目標】 ・寄付申込者数 14,000人/年度 【中間実績・担当評価(10/1現在)】 ・寄付申込者数 7,676人/年度:努力が必要(80%未満) 【年度末までの活動内容や課題等】 ・年間寄附額の約3割が12月に申し込みがあるため、引き続き年末に向け広告を出し露出度の向上を図る。	事業の進捗状況	A	KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)	B	○町の収入につながるので、さらに発展していただければと思います。 ○9月までの7,676人の申し込みは、まあまあだと思う。返礼品もシャインマスカットという高級品なので、より高級度が高いという点もある。返礼品目当てで寄付をする人が多いので、返礼品に一工夫していただきたい。 ○寄付を増加させるために様々な工夫をされているようですが、特別感を持たせるような返礼品も大切な視点かと思います。 ○「ふるさと納税で日本を元気に」というキャッチフレーズがあるように、市川三郷町に納税者が増えて、活力が生まれることを期待しています。そのためには、魅力ある返礼品の選択をお願いします。 ○企業版ふるさと納税の導入も検討してほしい。 ○費用対効果を考えて、広報等を行っているとのことですので今後も効果的に広告を出して、希望者に興味を持っていただけるようにし、返礼品の品質管理もしっかりしてほしいです。 ○ネットでアピール強化を。		
			B	KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)				
			C	KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)				
			D	KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。				
			E	KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。				
		今後の方向性					A	
			A	事業拡充(さらに発展させるべき)				
			B	事業改善(内容を見直し取り組むべき)				
			C	事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)				
				D	事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)			